



パネルハウス 断熱ガイド 屋根・壁編

第1.02版 2013年10月

芦別工場で断熱施工した例(3645D)のご紹介。

ストーブ取付は、煙突、排気筒、メガネ石、木枠、炉台などが必要です。

壁内に配線を施工される場合は、先に配線工事してください。

用意するもの ※ケーシングとは「額縁」「化粧木枠」の意味です。



換気口、換気用パイプ(100φ)



ガラリ



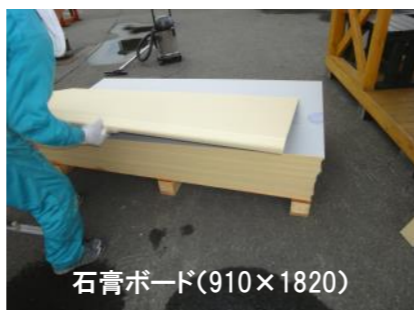
間柱(2×4)



断熱材(グラスウール厚さ90mm)



横下地材(1×4など)



石膏ボード(910×1820)



防湿シート(ポリシート)



ボード用パテ(下地用、仕上用)



ビニール付き養生テープ



室内用塗料とローラーセット



腰壁用ケーシング材※



腰壁材(約19x89x850~1000)

※腰壁材やケーシング材、廻縁、巾木などは室内仕上げのお好みで。



間柱を取付けます。



窓の上下にも間柱を取付けます。



コーナー用下地材を取付けます。(約30x40)
石膏ボードの下地材になります。



コーナー全てに取付けます。



木枠をつくり煙突用のメガネ石を取付。
(360x360x100 100φ用)



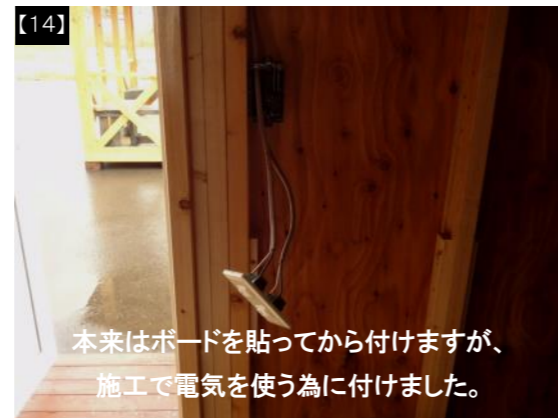
ケーシングを取付、外壁材をカットし
外壁材を取付。



換気用のパイプ(100φ)を取付。



屋外用ガラリを取り付けてコーキング。





【25】

サイズをはかり石膏ボードをカット。
カッターで4~5回刃を入れれば、
力を入れなくても切れます。



【26】



【27】



【28】

取り付けが難しい所から始めるとあとが楽。



【29】

腰板を貼るので下側に半端なボードを貼りました。



【30】

室内用換気口取付(100φ)



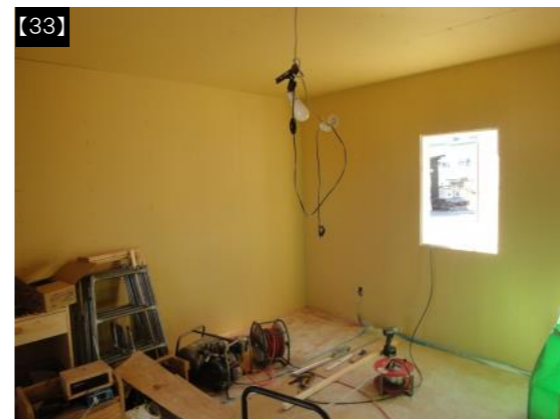
【31】

ブレーカーを取付。
(ブレーカーの取付け場所には下地材)



【32】

コンセントボックスはボードを貼る前に取付。
ボードを貼ってからカッターで穴を開けます。
(ボードを貼る前にはかり、穴を開けると忘れないです)



【33】



【34】

煙突用メガネ石のサイズでカットし、
石膏ボードを貼ってからケーシングを取付。



【35】

窓のサイズでカットし、
石膏ボードを貼ってからケーシングを取付。



【36】

ボードパテに水を加えて練ります。



【37】

ボードパテを適量取ります。



【38】

石膏ボードの継手とビス又は釘を打った所に
ボードパテを塗ります。



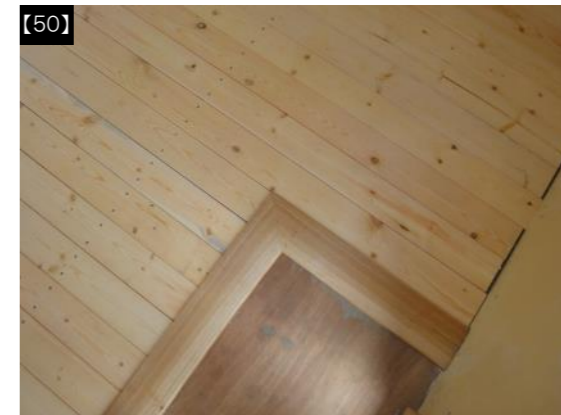
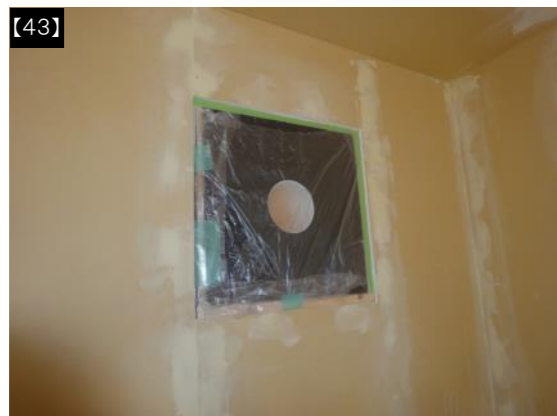
【39】

乾いたら2~3回繰り返します。



【40】

乾いたらサンドペーパー(100~150)で仕上げ。





室内用換気口を取付。(100φ用)



腰板のケーシングを取付けます。



角に四分之一を取付けます。(約19x19)



天井と壁の見切りには廻縁を取付けます。(約15x40)



巾木を取付ます。(約65x9)



【62】



完成



【64】



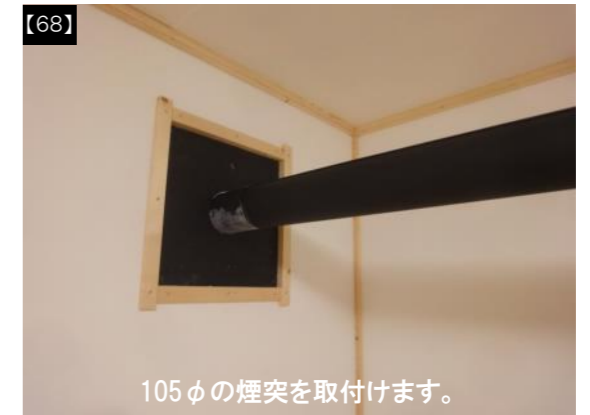
2×4材でレンガが収まる枠を作り、下側にスレートを取付けレンガをならべます。(約900×800)



壁側には2×4材で作った木枠の裏にスレートを取付けてスレートにレンガタイルを貼り付けました。(約900×1000)



ストーブ(350×500×500)を設置。



105φの煙突を取付けます。



初めて使用するときはかなり煙がでます。